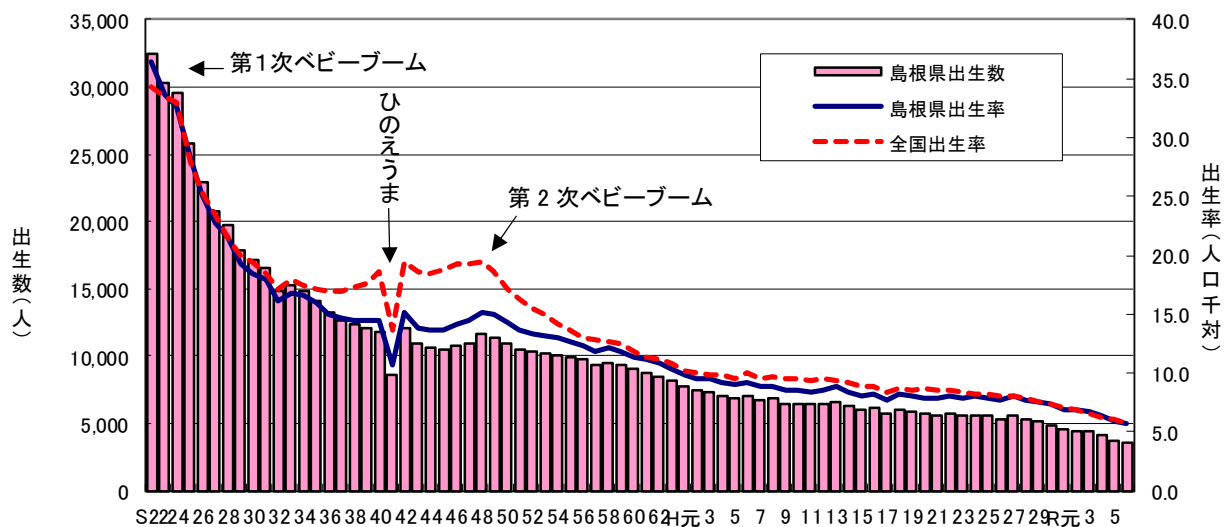


2 出生

(1) 出生数・出生率

令和6年の出生数は3,622人で、前年の3,759人から137人減少し、出生率（人口千対）は5.7（全国第16位）で、前年の5.9を下回った。出生数、出生率ともに昭和46～49年の第2次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている（図1）。

図1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移



出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、20歳～24歳、40歳～50歳以上の各階級が前年より増加し、その他の各階級では減少した（表2）。

表2 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	4年－3年	5年－4年	6年－5年
総数	4,415	4,161	3,759	3,622	△ 254	△ 402	△ 137
～14歳	－	－	－	－	－	－	－
15～19	35	13	22	14	△ 22	9	△ 8
20～24	341	344	285	298	3	△ 59	13
25～29	1,246	1,224	1,070	1,027	△ 22	△ 154	△ 43
30～34	1,568	1,448	1,361	1,308	△ 120	△ 87	△ 53
35～39	984	894	811	757	△ 90	△ 83	△ 54
40～44	231	227	207	213	△ 4	△ 20	6
45～49	10	11	3	4	1	△ 8	1
50歳以上	－	－	－	1	0	0	1

出生順位別にみると、令和6年は前年より全順位で減少した（表3）。

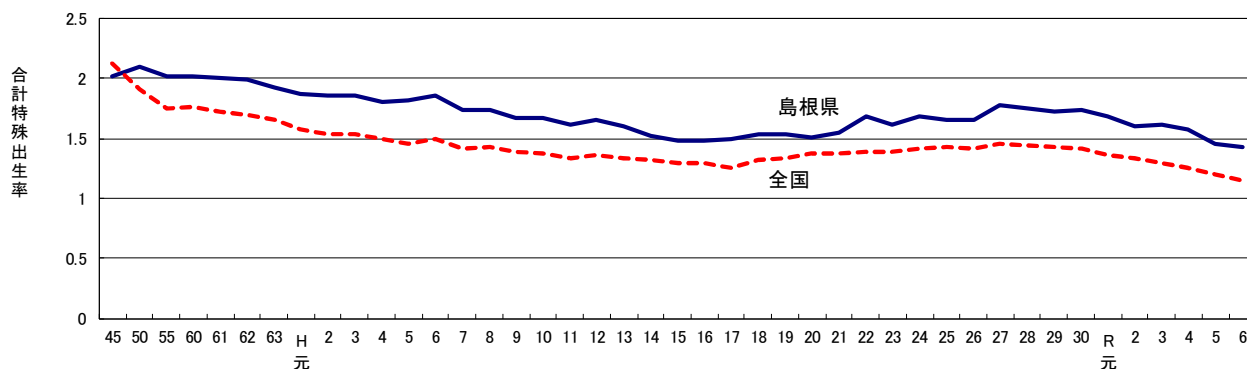
表3 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	4年－3年	5年－4年	6年－5年
総数	4,415	4,161	3,759	3,622	△ 254	△ 402	△ 137
第1子	1,811	1,686	1,510	1,493	△ 125	△ 176	△ 17
第2子	1,556	1,504	1,405	1,312	△ 52	△ 99	△ 93
第3子以上	1,048	971	844	817	△ 77	△ 127	△ 27

（2）合計特殊出生率

令和6年の合計特殊出生率は1.43であった。全国と比較すると、昭和50年以降一貫して島根県が上回っており、令和6年の順位は全国第3位である（図2）。

図2 合計特殊出生率の年次推移



○算出方法

※1 ※2
「（母の年齢別出生数）÷（年齢別女性人口）」の15歳から49歳までの合計

※1（母の年齢別出生数）＝（分子）：「人口動態統計」（厚生労働省）

※2（年齢別女性人口）＝（分母）：「推計人口」（総務省、ただし国勢調査年は国勢調査における日本人人口）

母の年齢（5歳階級）別出生率の昭和45年以降の推移を見ると、年により多少の増減があるものの、概ね20歳代では低下傾向、30歳代では上昇傾向にある。令和6年は20～24歳の階級でわずかに上昇し、25～34歳の各階級で下降、その他の各階級で前年と同一の数値となっている（図3）。

図3 母の年齢(5歳階級)別出生率の年次推移

